令和６年中、川越地区消防局管内では
１０１件の火災が発生しました。

・令和６年中の主な出火原因について

第１位	放火	１５件（前年比較＋６件）
第２位	たばこ	１０件（前年比較－７件）
第２位	たき火	１０件（前年比較－７数）
第４位	電気機器	５件（前年比較＋１件）

※２位の「たき火」とは野外焼却によるものを指します。

・電気機器の火災について

近年、全国的に増加している電気機器の火災について、川越地区消防局管内の火災事例と対策を下記ページで紹介いたします。

１　電気機器の火災事例

「電気機器」による火災が全国的に増加している要因として、家庭内で使用する電気製品の増加や電気機器の経年劣化等が考えられます。

令和６年中、川越地区消防局管内でもリチウムイオン電池が内蔵されている「電気機器」の火災が発生しているため取り扱いにはご注意ください。

事故事例１

コードレス掃除機

充電中のコードレス掃除機から出火。

出火原因は、コードレス掃除機に内蔵されているリチウムイオン電池がショートしたもの。

事故事例２

モバイルバッテリー

充電後のモバイルバッテリーから出火。

出火原因は、モバイルバッテリーに内蔵されているリチウムイオン電池がショートしたもの。

※ショートとは…

電圧がかかっている電気機器の電源コードやリチウムイオン電池内部の正負極が接触し、瞬時に大きな電流が流れること。短絡ともいう。

２　電気機器の火災対策

・安全性の高い電気機器の選択

川越地区消防局管内で互換性バッテリー（非純正品）から出火した火災が令和６年に発生しています。互換性バッテリーとは、電気機器製造メーカーとは異なるメーカーが製造したバッテリーのことを指し、比較的安価で販売されているのが特徴です。互換性バッテリーには、粗悪なリチウムイオン電池が内蔵されている場合が多くあり発煙及び発火の危険があります。火災を防ぐために純正品の使用を推奨しています。また、ＰＳＥマークが表示されている電気機器を使用することも火災予防に繋がります。

・適切な使用方法

電気機器を使用する際は、取扱説明書をよく読んで適切な使用を心掛けてください。リチウムイオン電池を内蔵している電気機器の場合には、電気機器の落下（衝撃）、水濡れ及び高温環境下等の原因でリチウムイオン電池から発火する危険が高まるため特に注意してください。

３　消防局からのお願い

リチウムイオン電池を一般ごみと一緒に廃棄するとゴミ収集車で圧縮した際に火災を発生する危険があります。また、焼却施設での火災原因となるため絶対に一般ごみと一緒に捨てないでください。詳しくは、川越市及び川島町のホームページをご参照ください。

「急ぐ日も　足止め火を止め　準備よし」

2025年度　全国統一防火標語

消防局予防課　火災調査担当

049-222-0744